

令和3年3月11日  
地域振興部文化観光課

### 「渋沢栄一翁の顕彰に関する包括連携協定」の加盟について

「日本資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一は、明治9年から12年間、深川福住町（現在の永代2丁目）に住み、旧深川区の区会議員（初代議長）及び深川区教育会会長を務めるなど江東区と深いつながりがある。今後、「渋沢栄一と江東区のつながり」を内外に発信するため、関係する自治体等と協力・連携することとし、令和3年1月、「渋沢栄一翁の顕彰に関する包括連携協定」に江東区が追加加盟した。

#### 1. 協定の概要

協定内容 （概要）	渋沢栄一の業績を顕彰するため、各加盟団体が多様な分野で包括的な連携と協働による事業を推進する。
加盟団体 （8団体）	渋沢栄一記念財団、北区、東京商工会議所、深谷市、深谷商工会議所、ふかや市商工会、板橋区、江東区
加盟日	令和3年1月29日

#### 2. 今後の展開

令和3年度は、渋沢栄一に関する講演会等のイベントを開催する。また、「渋沢栄一と江東区のつながり」を継続的に調査・研究し、内外に広くPRするため、庁内に「渋沢栄一と江東」連携プロジェクトチームを設置し、「ふるさと納税活用事業」として位置づける。

なお、令和5年には、清水建設（株）が建設に携わった旧渋沢家住宅の一部が、潮見へ移築される予定である。